

※文字の大きさは MSゴシック /12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、適宜文章中に挿入してください。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー名：福島県立相馬支援学校

学校名：福島県立相馬支援学校

活動名：本当は知りたい！学びたいんです！～これからの研修スタイル・教師寺子屋～

解決すべき課題：本当に学びたいことは、個人によって違う！！学びたいけど・・・

学校現場において「研修」というと、自分が取り組む日々の業務にプラスして行うビルド思考の雰囲気があることが多く、今日的な課題である教師の多忙化を解消できないという現状があった。しかし、経験等も様々な教員集団の中で、個々人の実は知りたい、学びたいという内容は確実にある。またそれについて、先輩教員や詳しい教員に聞きたくても、個人で聞きづらいと現状があるのは確かである。これは全国的な課題としても指摘されている。結果として、悩みを抱えた教員は、その不安を抱えたまま業務に向き合うことになり、時間も浪費することになる。

この問題の解決が、教員の働きやすさにつながり、普段の授業等における技術力、日々の業務力が向上し、子どもたちの学びにつながると考える。

目標・方針：ビルド型研修スタイルからの脱却！！

これまでの「研修」スタイルを見直し、“個人の学びたい”を保障していくことで、教員が本来もっている学びの意欲を満たし、授業につなげ、子どもたちの資質・能力の育成につなげることができるように仕掛ける。その際、校内の様々な得意分野のある教員を“プロ”と称して、楽しみながら学び合ったり、これまで蓄積された各教員の授業実践をすぐに活用できるように整理したりすることで、より教員の資質・技術向上を図って、日々の授業に取り組めるようにする。教員一人一人の「個別最適な学び」を保障し、誰もが自信をもって、働きやすい職場を目指す。

活動内容：一人一人の「個別最適な教師の学び」を保障するためのラインナップ！！

<実施内容>

【教師寺子屋部門】

①Theme of Learning …研修テーマがあり、学びたい人が参加型。
 * 研修部が、学習上や業務上で先生方が困っている内容をテーマ設定して実施する。

②Personal Learning …個人が学びたい内容とその道のプロをマッチング。同様の悩みがある人や学びたい人参加型。
 * 個人の悩みや学びたい内容を研修部が仲介役としてマッチングして、個人の負担なく実現する。参加希望者はノートに記入。

【一人で学べる環境整備部門】

③授業実践から具体的に学ぶ…蓄積された実践・日々の単元を支援する活用型スタイル
 * これまでの授業実践（単元案）から、自分の単元構想がすぐにできるように支援。

<実施日程>

【Theme of Learning】 * 日程の一部紹介 年間7回程度
 6月29日（水）…学習評価のポイント、実際にやっちゃって前期提出へ！
 7月27日（水）…業務効率化のための教員パソコン教室
 8月23日（火）…年に1回は組織学！・・・OJL研修 等

【Personal Learning】 …その都度開催（進路、企業、ICT、働き方の悩み等、今年度多数実施）

【環境整備】 …単元配列をクリックすると、単元案データベースとリンクし、教員業務の支援等以上の内容を楽しみながら取り組み、安心して学び、自信をもって働ける職場を目指した。

取組の過程：各分野のプロが伝授！学び合う面白さ！活用できる利点！

【教師寺子屋部門】 研修部掲示板にてお知らせし、参加者はノートに名前を書く！

チラシの例

単元構想、学習評価、個別の教育支援計画や自立活動など、授業関係に関わることのスキルを上げ、日々の授業力がアップ！！

ICT活用について、楽しみながら授業での活用場面を実際に体験しながら学び、授業場面で大いに活用！

一般企業に勤めていた先生、組織学のプロから企業研修を学ぶ！民間の知見を吸収！ママさん先生の悩みなども先輩ママさんと座談会形式でアドバイスももらって元気に！！

自発的な学びに、R4(11月時点)延べ150人以上参加！！

【一人で学べる環境整備部門】

気軽に自分のタイミングで、蓄積された授業実践や単元構想を参考に学び、最短距離で、日々の授業力がアップ！！

実践から学べる環境

授業の参考にしている様子

多忙な環境だからこそ、今こそ学びの本質をエッセンス思考で！
 ～より少なく、より良く～

活動の成果：参加した教員の声！活用した人の声！ * アンケートから一部記載。

・両プロが共通して言っていた事「評価する事が自分自身の授業改善につながる。」生徒の姿が、自分の授業の姿・・・「鏡」なのかなと思いました。（学習評価寺子屋から）

・CK作戦（単元配列クリック）をたくさん活用させていただいています。単元案がある授業とない授業での明確な差を感じられるようになりました。1時間の中で、生徒たちの「あっ！！！」という発見や、ポロッと出た発言など、授業の中で引き出したいことが明確な分、それらが出た時には、「キター！！！」「やったー！！！」と心の中で喜んでいます！（環境整備から）

これらは、あくまでも参加者の声の一部である。キャリア教育の目指す姿は「学び続ける姿」としている（平成23年中央教育審議会答申）。生徒を主語に学びを深めるために、教員の主語を大切に、学びを支援する環境を作り、**私たちが学びを楽しむ気持ちが、子どもたちが学びを楽しむ気持ちにつながる**と考える。今後も、愚直にやっていきたい。

これからは「課題の修正」を強いるより、問題解決に向けた「ちょっとベター精神！！」

○画像：出典：<https://ai-catcher.com/>

「得た知識から授業改善へ」